

発言No.

19

受付No.

16

令和 4年 11月 22日  
10時 26分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番

氏名 足 立 豪

答弁を求める者  
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 プレミアム付「はまだ応援チケット」について

物価上昇等に伴う市民の皆様への経済支援および新型コロナウイルス感染症により疲弊した地域企業を応援するため、幅広い業種で使える応援チケットとして第2弾が令和4年10月12日より販売され、完売となった。

このことについて、以下のとおり伺う。

##### (1) 販売目的について

①地域企業の応援を最優先として実施されたが、目的が達成できたのかどうか伺う。

##### (2) 課題と今後について

①成果をどのように捉えているか伺う。

②今後、同様なことが行える状況になった場合について考えを伺う。

#### 2 在宅介護支援について

日本の高齢化率は2022年において29.1%だが、過疎地域である浜田市の高齢化率は37.65%に上昇しているのが現状である。国は、医療や介護が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で本人の有する能力に応じ、自立した生活を続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるという考え方のもと「地域包括ケアシステム」を推進しており、浜田市としても介護サービスに対し様々な取り組みを行っているが、在宅サービス支援の大きな事業について伺う。

(1) 家族介護慰労金について

- ①家族介護慰労金（年間10万円）の支給要件について

(2) 在宅介護慰労金について

- ①在宅介護慰労金（年間3万円）の支給要件について

(3) 家族介護用品支援事業について

- ①家族介護用品支援事業（年間4万円 オムツ等）の支給要件について

3 インクルーシブ教育について

国連の障害者権利委員会は障害者権利条約に基づき、日本政府に対して9月9日に障がい児を分離した特別支援教育の中止などを求める勧告を発表した。障がい児と健常児が共に学ぶ「インクルーシブ教育」を掲げ、欧米などで浸透しているが、日本では十分に進んでいない。

この現状を踏まえ、浜田市の考えを伺う。

(1) 学校の現状について

- ①浜田市の通常学級に在籍している子どもと特別支援学級に在籍している子どもの推移について

(2) 学校の今後について

- ①今後の学級再編の考え方について